

「利上げのできる国々」を再評価する動きに

Raku
Yomi

楽読(ラクヨミ)

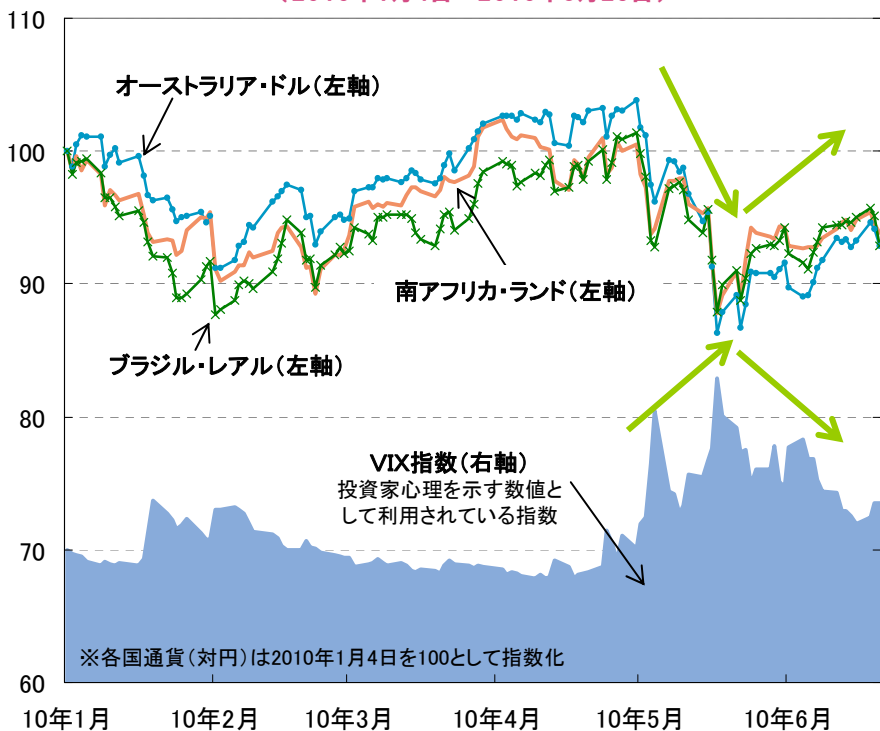
nikko am
fund academy

5月の外国為替市場では、ギリシャ問題に端を発する欧州の財政問題などへの懸念や株式市場の下落などを受け、投資家のリスク回避姿勢が強まったことなどから、安全資産として円を選好する動きが広がる一方、資源国通貨などは大きく値を下げる展開となりました。

しかしながら、6月に入り、1日のカナダを皮切りに、9日のブラジル、10日のニュージーランドと、資源国通貨を代表するような国々が利上げを行なったことから、市場では、欧州の財政問題などがこれらの国々の力強い景気回復に影響を及ぼしていないと受け止められた形となり、資源国通貨は値を戻す展開となりました。また、こうしたことを好感するように、金融市場も徐々に落ち着きを見せ始めました。

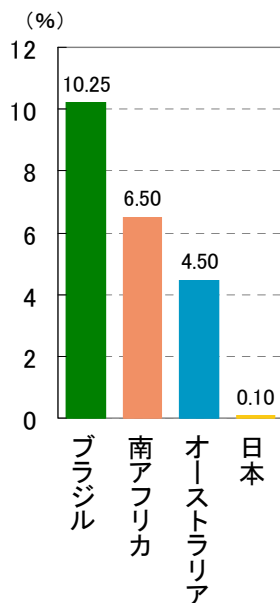
欧州の財政問題や金融システムに対する懸念は根強く、今後も、投資家の不安心理が増幅しやすい局面は多いとみられますが、こうした「利上げのできる国々」の力強いファンダメンタルズ(経済の基礎的要件)が時にはリスク回避傾向を和らげる可能性があることに注目すべきでしょう。加えて、リスク回避傾向の変化から、各国の金利差など、期待収益に基づく投資がより選好されやすいことを考えると、力強い回復を遂げている上、相対的に高い金利である資源国の通貨は、投資の魅力が増すと期待されます。

主な資源国通貨とVIX指数の推移 (2010年1月4日～2010年6月23日)



(ご参考) 各国の政策金利

2010年6月23日現在



※信頼できると判断したデータをもとに日興アセットマネジメントが作成
※上記は過去のものであり、将来の運用成果等を約束するものではありません

日興アセットマネジメント

■当資料は、日興アセットマネジメントが市況等についてお伝えすることを目的として作成したものであり、特定ファンドの勧誘資料ではありません。また、弊社ファンドの運用に何等影響を与えるものではありません。なお、掲載されている見解は当資料作成時点のものであり、将来の市場環境の変動等を保証するものではありません。■投資信託は、値動きのある資産(外貨建資産には為替変動リスクもあります。)を投資対象としているため、基準価額は変動します。したがって、元金を割り込むことがあります。投資信託の申込み・保有・換金時には、費用をご負担いただく場合があります。詳しくは、投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。